食塩換算塩素　上記強熱残分で得た残分に、水約50mLを加え、振り混ぜ、100mLの全量フラスコに入れ、硝酸２～４滴及び全量ピペットを用いて0.1mol/L硝酸銀液10mLを加え、更に水を加えて100mLとし、よく振り混ぜ、ろ過し、最初のろ液10mLを除き、次のろ液50mLを量り、硫酸第二鉄アンモニウム試液１mLを加え、0.1mol/Lチオシアン酸アンモニウム溶液で滴定するとき、塩化ナトリウムの量は、総固形物質量の６％を超えない。

0.1mol/L硝酸銀溶液１mL＝5.844mgNaCl

硝酸塩　試料溶液10mLを量り、活性炭1.5g（1.45～1.54g）を加え、１分間煮沸した後、水を加えて約10mLとし、ろ過する。ろ液にジフェニルアミン試液３滴を加えるとき、溶液は、青色を呈さない。

アンモニア態窒素　試料溶液100mLを量り、炭酸バリウム５g（4.5～5.4g）及び水100mLを加え、0.05mol/L硫酸50mLを入れた受器中に、蒸留液が約100mLになるまで水蒸気蒸留する。蒸留液に、メチルレッド試液１～３滴を加え、0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定するとき、アンモニア態窒素の総量は、総固形物質量の0.35%を超えない。

0.05mol/L硫酸１mL＝1.703mgNH_3

ニコチン酸　$C_6H_5NO_2$〔日局〕

二酸化炭素　CO_2〔日局〕

p-ニトロアニリン　$O_2NC_6H_4NH_2$〔１級〕

５-ニトロソ-８-オキシキノリン　C_9H_5NOHNO　本品は、暗灰緑色の結晶性粉末である。

融点　約245℃（分解）

溶状　本品0.1g（0.05～0.14g）を硫酸100mLに溶かすとき、その溶液は、澄明である。

鋭敏度　レゾルシンのエタノール溶液（１→1,000）0.05mLをるつぼに入れ、水浴上で蒸発乾固し、放冷した後、これに本品の硫酸溶液（１→1,000）0.05mLを加えて加熱するとき、赤紫色となる。

α-ニトロソ-β-ナフトール　$C_{10}H_nNO_2$〔特級〕

α-ニトロソ-β-ナフトール試液、強　α-ニトロソ-β-ナフトール１g（0.5～1.4g）に氷酢酸25mLを加え、加温して溶かした後、水25mLを加え、加温して溶かし、更に水25mLを加え、１時間放置した後、ろ過する。

１-ニトロソ-２-ナフトール-３，６-ジスルホン酸二ナトリウム　$C_{10}H_5NNa_2O_8S_2$〔１-ニトロソ-２-ナフトール-３，６-ジスルホン酸二ナトリウム（ニトロソR塩）、特級〕

o-ニトロフェニル-β-D-ガラクトピラノシド　$C_{12}H_{15}NO_8$　白色の結晶性粉末で、臭いはない。水にやや溶けにくく、エタノールに溶けにくい。

融点　193～194℃

比旋光度　本品1.0gを0.01gの桁まで量り、その数値を記録し、水を加えて溶かし、100mLの全量フラスコに入れ、更に水を標線まで加えて100mLとし、この溶液につき、層長100mmで旋光度を測定するとき、$[\alpha]_D^{18}$＝－51.9°である。

強熱残分　0.05%以下（２g）

ニトロプルシドナトリウム　$Na_2Fe(CN)_5NO \cdot 2H_2O$〔特級〕

ニトロプルシドナトリウム試液　ニトロプルシドナトリウム１g（0.5～1.4g）に水を加えて溶かし、20mLとする。用時調製する。

ニトロベンゼン　$C_6H_5NO_2$〔特級〕

乳酸　$C_3H_6O_3$〔特級〕

乳酸塩緩衝液、0.1mol/L、酵素力試験用　乳酸9.01g（9.005～9.014g）に水を加えて溶かし、900mLとする。この溶液に希水酸化ナトリウム試液を加えて所定のpHに調整し、水を加えて1,000mLとする。

乳酸試液、１mol/L　乳酸90.1g（90.05～90.14g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。

乳酸試液、0.05mol/L　乳酸4.5g（4.45～4.54g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。

乳製カゼイン　カゼイン、乳製の項に定める。

乳糖　$C_{12}H_{22}O_{11} \cdot H_2O$〔日局〕

二硫化炭素　CS_2〔特級〕

鶏卵黄液　鶏卵から卵黄のみを無菌的にとり、卵黄と同量の水で希釈する。用時調製する。

ニンヒドリン　$C_9H_4O_3 \cdot H_2O$〔ニンヒドリン（抱水トリケトヒドリンデン）、特級〕

ニンヒドリン・アスコルビン酸試液　ニンヒドリン0.25g（0.245～0.254g）及びアスコルビン酸0.01g（0.005～0.014g）を量り、水を加えて溶かし、50mLとする。用時調製する。

ニンヒドリン、アミノ酸分析用　$C_9H_6O_4$　〔アミノ酸分析用〕

ニンヒドリン試液　ニンヒドリン0.2g（0.15～0.24g）に水を加えて溶かし、10mLとする。用時調製する。

ニンヒドリン試液、アミノ酸分析用　アミノ酸分析用ニンヒドリン30g（29.5～30.4g）、水酸化ホウ素ナトリウム134mg（133.5～134.4mg）、酢酸緩衝液800mL及びメチルセロソルブ1,200mLを混合し、窒素ガスを吹きつけながら溶解する。冷蔵保存する。

ニンヒドリン試液、定量用　ニンヒドリン５g（4.5～5.4g）、塩化第二銅6.7g（6.65～6.74g）、クエン酸緩衝液125mL及びメチルセロソルブ375mLに水を加えて1,000mLとする。調製した後２週間は、安定である。

ニンヒドリン・ブタノール試液　ニンヒドリン0.3g（0.25～0.34g）をn-ブタノール100mLに溶かし、氷酢酸３mLを加える。

ネスラー試液　ヨウ化カリウム10g（9.5～10.4g）に水10mLを加えて溶かし、かき混ぜながら塩化第二水銀飽和溶液を赤色沈殿が溶けずに僅かに残るまで加える。これに水酸化カリウム30g（29.5～30.4g）を水60mLに溶かした溶液を加え、さらに、塩化第二水銀飽和溶液１mL及び水を加えて200mLとする。沈殿を沈着させた上澄液を用いる。本液２mLを塩化アンモニウム溶液（１→300,000）100mLに加えるとき、30秒以内に黄褐色を呈する。

濃ヨウ化カリウム試液　ヨウ化カリウム試液、濃の項に定める。

L-ノルロイシン　$C_6H_{13}NO_2$　〔アミノ酸分析用〕

L-ノルロイシン試液　L-ノルロイシン16mg（15.5～16.4mg）に１mol/L塩酸を加えて溶かし、50mLとする。

ハイドロサルファイトナトリウム　$Na_2S_2O_4$〔ハイドロサルファイトナトリウム（ハイドロサルファイト）、１級〕

薄層クロマトグラフ用シリカゲル　シリカゲル、薄層クロマトグラフ用の項に定める。

薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）　シリカゲル（蛍光剤入り）、薄層クロマトグラフ用の項に定める。

薄層クロマトグラフ用セルロース末（蛍光剤入り）　セルロース末（蛍光剤入り）、薄層クロマトグラフ用の項に定める。

薄層クロマトグラフ用デコキネート　デコキネート、薄層クロマトグラフ用の項に定める。

バナジン酸アンモニウム　NH_4VO_3　〔特級〕

バニリン　$C_6H_3CHO(OCH_3)OH$　白色の結晶で、特異な臭い及び味を有する。

融点　81～83℃

乾燥減量　1.0%以下（１g，シリカゲル，４時間）

強熱残分　0.05%以下（１g）

遮光して保存する。

バニリン・塩酸試液　バニリン10mg（9.5～10.4mg）にエタノール１mLを加えて溶かし、水１mL及び塩酸６mLを加える。用時調製する。

バニリン・硫酸・エタノール試液　バニリン３g（2.5～3.4g）に無水エタノールを加えて溶かし、100mLとした溶液に、硫酸0.5mLを加える。